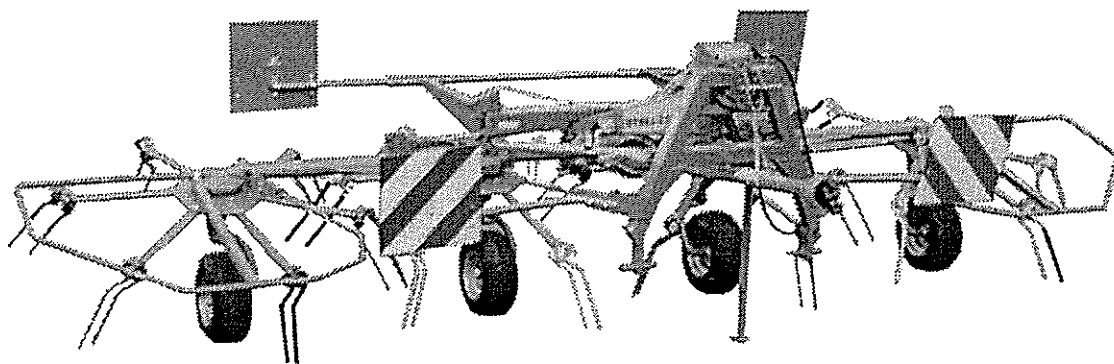


取扱説明書及び部品表

STOLL

ロータリーテッパ Z555DH



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

輸入・販売元 **株式会社 五力キキ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ロータリテック**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも**必ず製品に近接して保存**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警 告 サ イ ン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

 **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	8
各部の名称とはたらき	9
トラクタへの装着	10
1. トラクタの準備	10
3. 3点リンケージへの装着のしかたと調整方法	10
2. ユニバーサルジョイントの取付け	11
運転に必要な装着の取扱い	12
1. マストロック装置の取扱い	12
4. 運搬姿勢から作業姿勢への切換え	14
2. タイヤ横方向の角度調整	13
5. 作業姿勢から運搬姿勢への切換え	14
3. タイヤ上下方向の角度調整	13
6. マスト高さの調整	14
作 業 方 法	15
1. 作業手順と要点	15
5. 通常の反転拡散	17
2. 移動するときは	16
6. ウインドロウの拡散	17
3. 作業前の確認事項	16
7. ほ場端での作業	17
4.刈取り列の拡散	17
8. 傾斜地での作業	18
作業前の点検について	19
1. 点検一覧表	19
簡単な手入れと処置	20
1. 各部へのグリスアップ	20
4. 油圧装置の修理を行う場合	21
2. タイヤの空気圧	20
5. 長期格納時の手入れ	21
3. タインの交換	21
不 調 診 断	22
付 表	23
1. 主要諸元	23
2. 主な消耗部品	23

安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

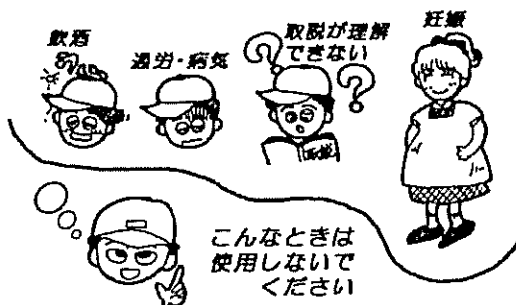
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

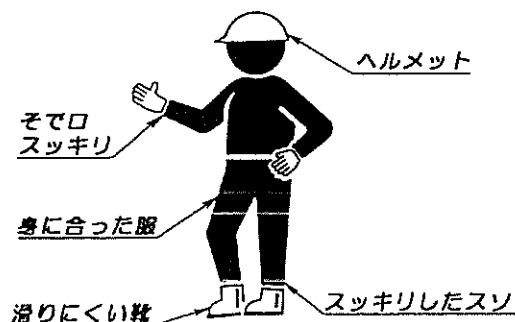
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



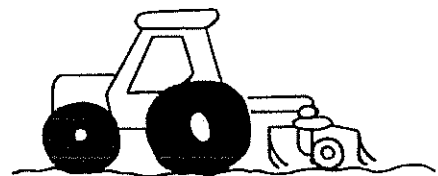
(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ馬力

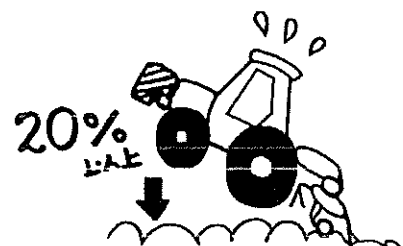
型式	適応トラクタ kW (PS)	装着方法
Z 5 5 5	22 (30) ~	3点リンク直装式 (カテゴリ I・II 兼用)

● P T O 回転速度 : 540min⁻¹ (rpm)



(4) 装着時の前後のバランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保してください。できなれば装着しないでください。



⚠ 安全に作業するために

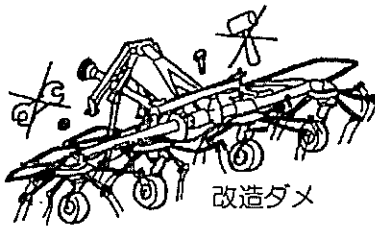
(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けしないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けしないでください。

また、改造をしないでください。



(7) 使用目的以外への使用禁止

本機は稲ワラ、牧草、麦稈の拡散・反転作業を目的として作られた機械です。他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

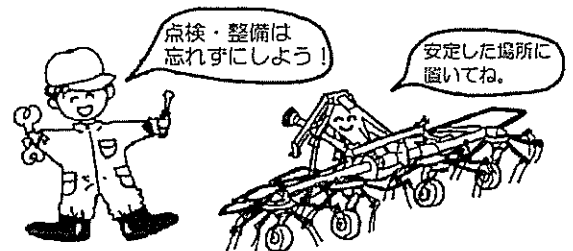


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

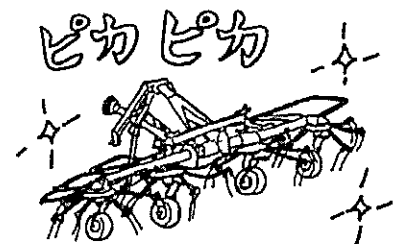
(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



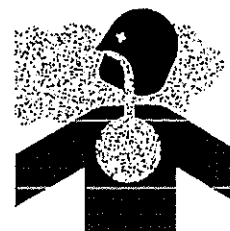
(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでトラクタのエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



⚠ 安全に作業するために

(6) カバー類を必ず取付ける

カバーやガードなどの防護装置を取外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを止めてから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

(7) 注油・給油するときは

トラクタのPTOを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部には十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

トラクタの油圧の昇降および外側のロータの折りたたみは、付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。

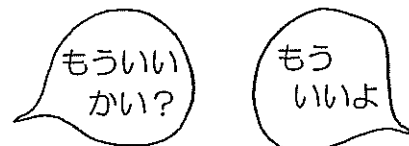


(2) PTO回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを始動するときは

PTOを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(5) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(6) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。

斜面の作業は、必ず等高線に直角方向に走行してください。

② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

⚠ 安全に作業するために

- (7) 回転中のユニバーサルジョイントには触れない

回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。



- (8) 回転中のロータには触れない

回転しているロータに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。

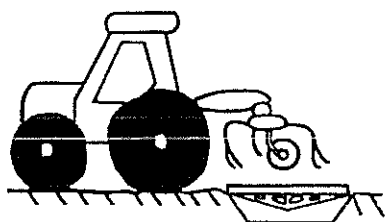


- (9) 移動及び旋回するときは

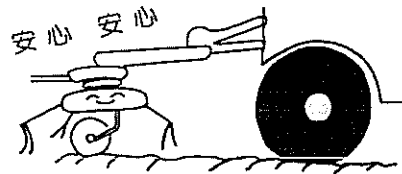
トラクタに本機を装着しての移動やほ場での旋回は、必ず3点リンケージでリフトアップしてから行ってください。急旋回は危険ですので行わないでください。

- (10) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



- (11) 作業途中で運転席より離れるときは平坦な場所に降ろし、PTOを切り、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。

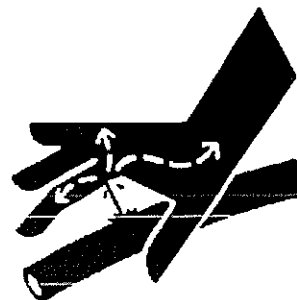


- (12) 高圧油に注意してください

- ①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透するほどの力があり、傷害の原因になります。
- ②高圧油による傷害を防止するために配管・ホースなどの取外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締めつけてください。
- ④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことは止めてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。





安全に作業するために

4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。

(2) 作業姿勢での移動禁止

作業姿勢のまま移動しますと、人に重大な傷害を加えたり、物損事故を引き起こす恐れがあります。移動する場合は、外側ロータを後方へ折りたたんで確実にロックされていることを確認してください。

(3) トラックなどへの積み込み・積降ろしは平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。

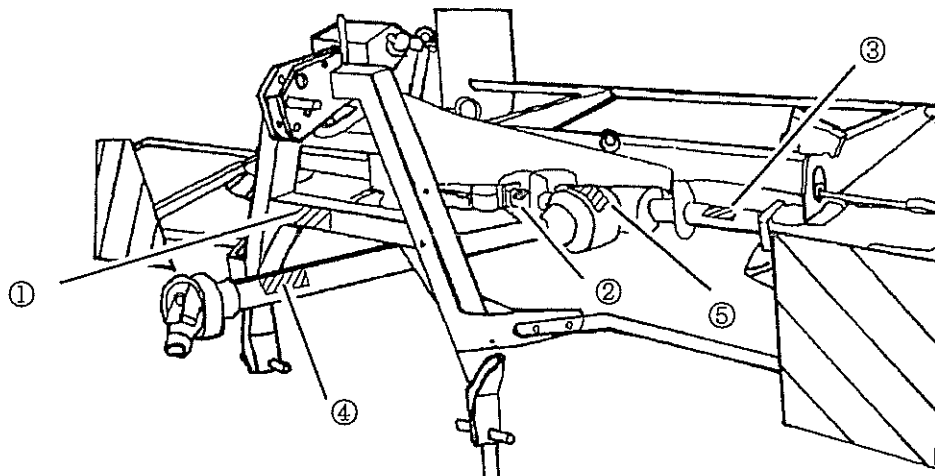
積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープ等で確実に固定してください。

以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で  印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 001204500041

⚠ 注意

001204500041

1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟読するまでお読みください。 2. 全部のラベルが所定部分に貼付けられているようにしてください。 3. エンジン始動前に機体の周りに人がいないことを確認してください。 4. 作業中は人や動物を近づけないでください。 5. 運転席をはなれるときには、必ず	エンジン停止し、駐車ブレーキをかけてください。 6. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。 7. 点検・調整等はエンジンを止めて実施してください。 8. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないようにしてください。 9. 道路走行は、道路交通法規を遵守してください。
---	---

②部品コード 001206000650

⚠ 警告

001206000650

回転中は接近しないで下さい。
触れると巻き込まれ重傷を負うおそれがあります。

③部品コード 001206000580

⚠ 警告

001206000580

回転中は接近するな。
石などが飛散してケガをするおそれがあります。

④部品コード 001206000640

⚠ 警告

001206000640

回転部に接触するとケガをするおそれがありますので下記を厳守して下さい。

(1) 旋回する時は、必ずトラクタのエンジンを止めてから行い、また油漏は直ちに直して下さい。

(2) ジョイントカバーは必ず付け、チェーンで固定してご使用下さい。

(3) 動力伝達中は、ユニバーサルジョイントに近づいたり触れたりしないで下さい。

(4) このユニバーサルジョイントは、指定の作業機以外の動力伝達には使用しないで下さい。

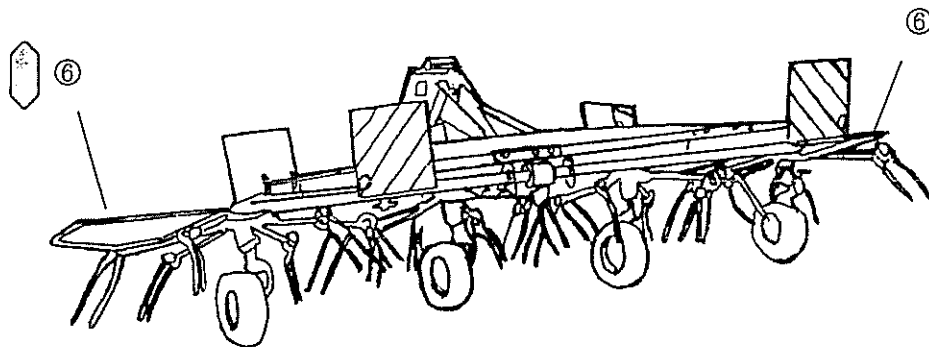
⑤部品コード 001206000610

⚠ 警告

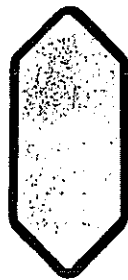
001206000610

巻き込まれてケガをする恐れがあるので回転中は近づかないでください。カバーは、常に装着してください。

⚠ 安全に作業するために



⑥部品コード 001104100010



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し、新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈の拡散・反転作業にご使用ください。

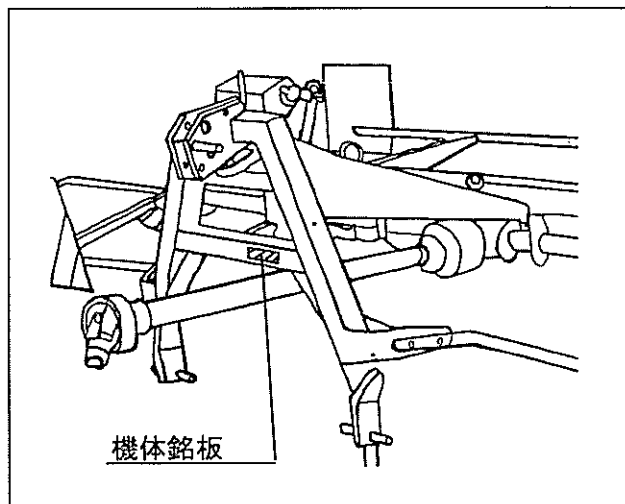
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

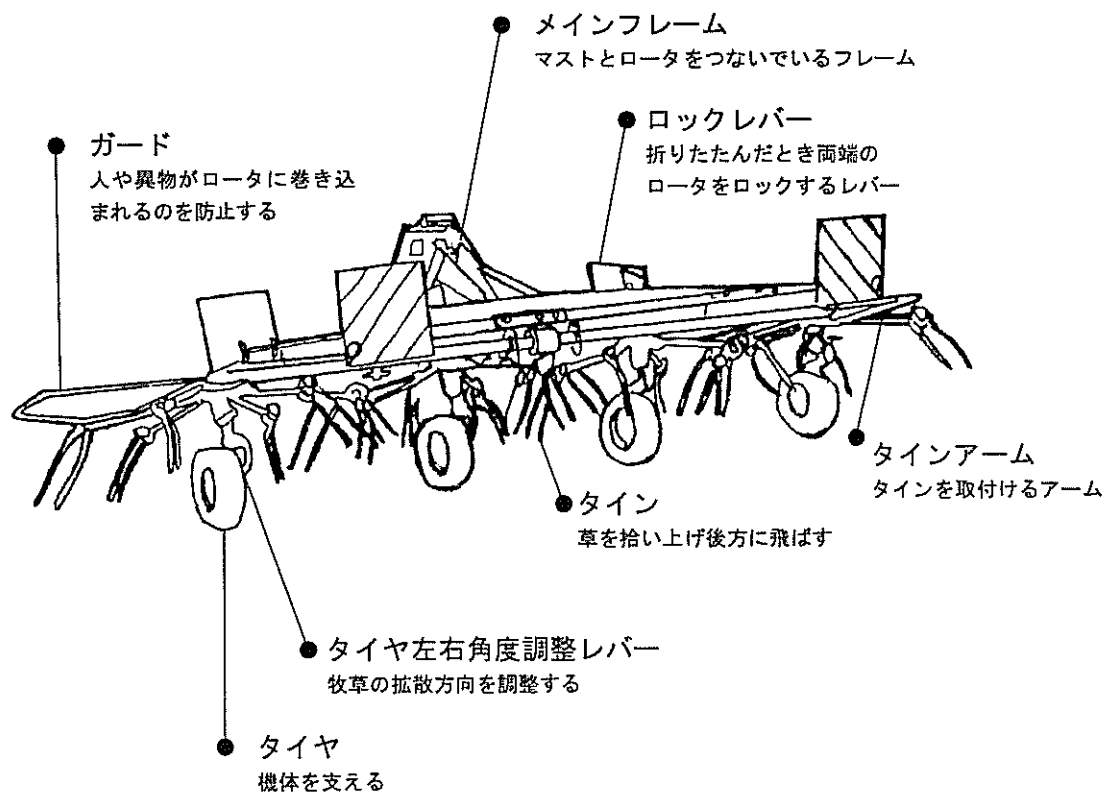
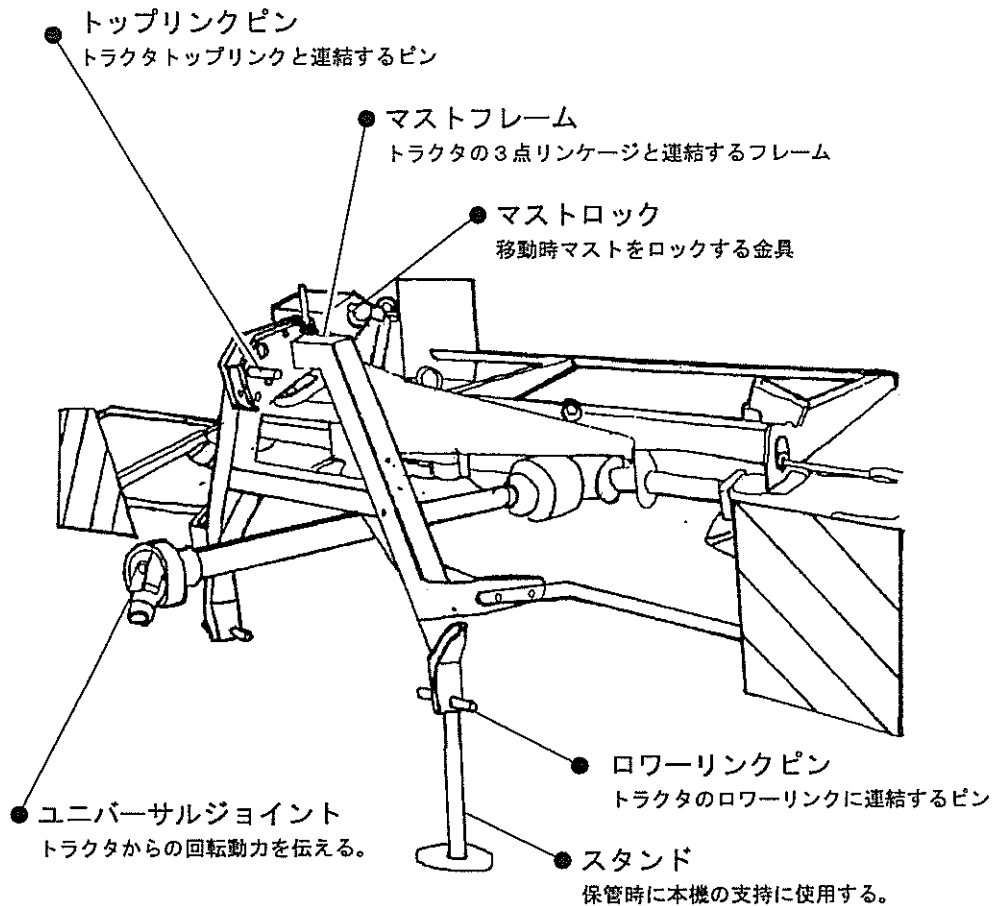
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品名	ロータリテッダ
型式	Z 5 5 5 D H
機体 No. (SER-No.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

各部の名称とはたらき



トラクタへの装着

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを止め、P T Oを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

1. トラクタの準備

◆フロントウエイト

3点リンケージに装着し、本機を運搬姿勢にして持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。

もし、不足するときは、トラクタ指定のフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保してください。できなければ装着しないでください。

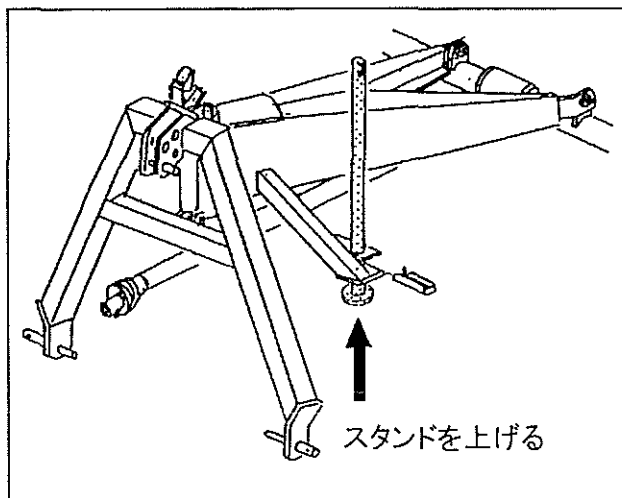
2. 3点リンケージへの装着のしかたと調整方法

◆3点リンケージへの装着順序

左ロワーリンク、右ロワーリンク、トップリンクの順序で取付けてください。

◆スタンド

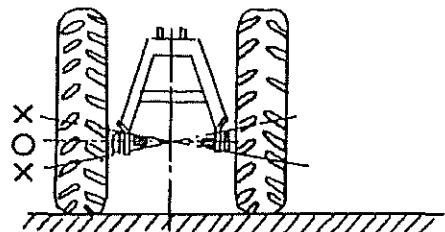
トラクタ3点リンケージを上昇させ、本機を持ち上げてスタンドを上げてください。



◆マストフレームを水平に

本機を地面に降ろし、機体が地面に対して水平になるようにロワーリンクを調整します。

水平調整



◆チェックチェンの調整

運搬時及び作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェンでトラクタ中心に本機中心が一致するように左右均等に固定してください。

◆トップリンクの長さ調整

本機マストのロックを外し、トラクタロワーリンクをいちばん下げた状態で、ティン先端と地面の隙間を0～20mmに調整してください。

トラクタへの装着

2. ユニバーサルジョイントの取付け

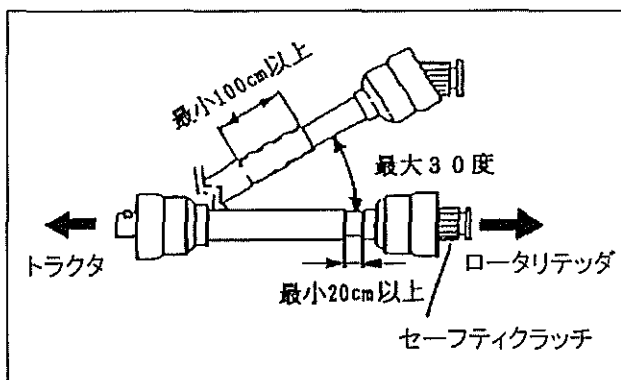
◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

セーフティクラッチ側を本機入力軸に取付けてから、反対側をトラクタPTO軸に確実に取付けてください。

◆トラクタ側ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。先に、ジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

また、作業時のジョイント角度は最大30度を超えないよう調整をしてください。

30度を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけて、しっかりと固定してください。

運転に必要な装置の取扱い

警告

●本機各部を操作あるいは調整される時は、必ずトラクタのエンジンを止め、PTOを切ってください。

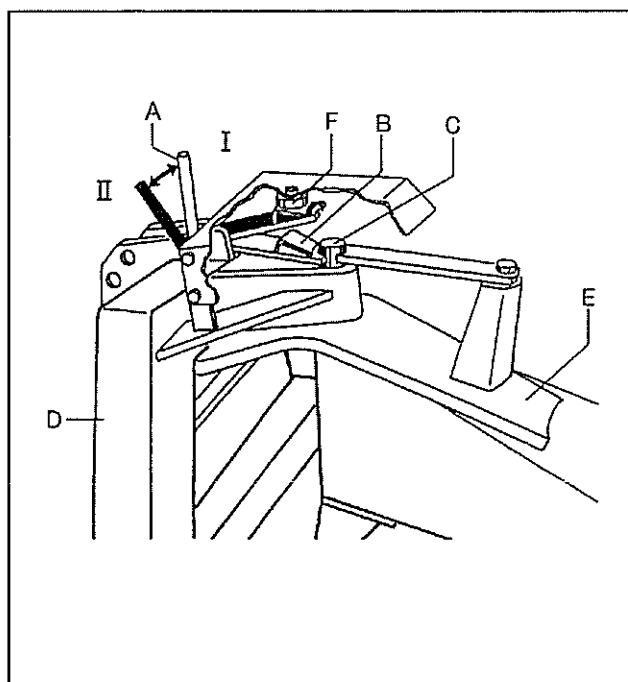
守らないと重大な傷害事故が発生の恐れがあります。

1. マストロック装置の取扱い

この作業は本機を持ち上げてから行います。

◆運搬時はマストに対しフレームが動かないようロックしてください

- ①レバーAをI位置に動かすことでロックBがボルトCにかかり、フレームはロックされます。



注意

運搬時は、必ずフレームをロックしてください。守らないと機体が急に左右に振れ、トラクタのハンドルがとられる恐れがあり危険です。

◆作業時はマストに対しフレームが自由に揺動するようロックを解除してください

- ①レバーAをIIに動かすことによりロックBは解除位置に戻ります。

〔ロックBはマグネットFにより
ロック解除位置に保持されます。〕

注意

作業時は、ロックを必ず解除してください。ロックしたまま作業されますと、旋回時などにタイヤに無理な力がかかり、足まわりが破損する恐れがあります。また、マストやフレームにも損傷が及ぶ恐れがあります。

運転に必要な装置の取扱い

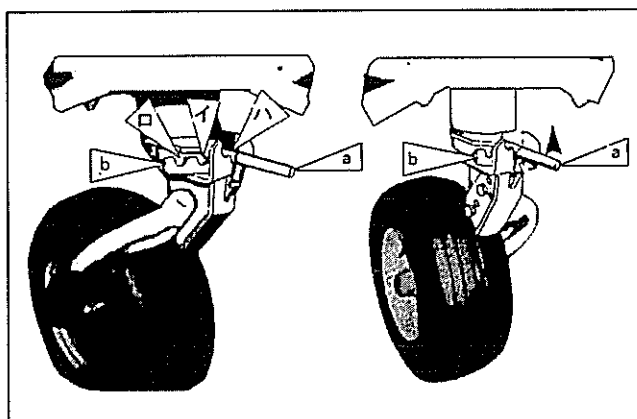
2. タイヤ横方向の角度調整

ほ場の外周あるいは、枕地の拡散・反転作業を行うときは、機体をオフセットにすることで牧草がほ場外へ飛散することを防止できます。

◆調整方法

この作業は本機を持ち上げて行います。各ロータの下にあるレバーに対し、溝の位置を変えて調整します。

レバー(a)をスリット位置から矢印の方向へ引き、ホイールを回転させ設定位置を合わせ切り替えます。



①通常作業

通常はレバー(a)を角度調整金具(b)の中央の溝(イ)に入れてください。牧草は後方へ飛散します。

②外周作業で、ほ場端が左側にある場合

レバー(a)を角度調整金具(b)の溝(ロ)に入れてください。作業を始めると機体は、進行方向右側にオフセットし、牧草は右方向へ飛びます。

③外周作業では場端が右側にある場合

レバー(a)を角度調整金具(b)の溝(ハ)に入れてください。機体は左側へオフセットし、牧草は左方向へ飛びます。

3. タイヤ上下方向の角度調整

タイヤ高さ調整により、拡散角度を変えることができます。

◆調整方法

この作業は本機を持ち上げて行います。

①通常（生草・予乾草）

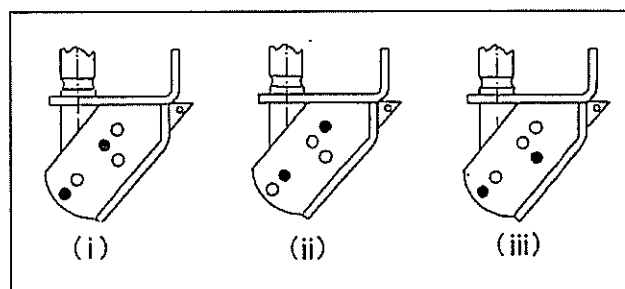
下図穴(i)にタイヤアームをセットする。
ロータの前傾角度がいちばん大きくなり草離れがよい。

②乾燥した牧草

下図穴(ii)にタイヤアームをセットする。

③極度に乾燥した短い牧草

下図穴(iii)にタイヤアームをセットする。



注意

タイヤ高さの調整をしたときは、合わせてタイン高さを調整する必要があります。

運転に必要な装置の取扱い

4 運搬姿勢から作業姿勢への切換え

トラクタ3Pで、本機を少し持ち上げます。

注意

ロータはゆっくりと降ろしてください。

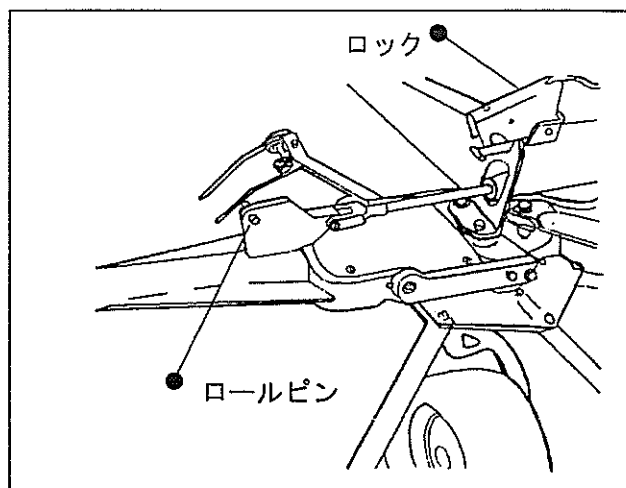
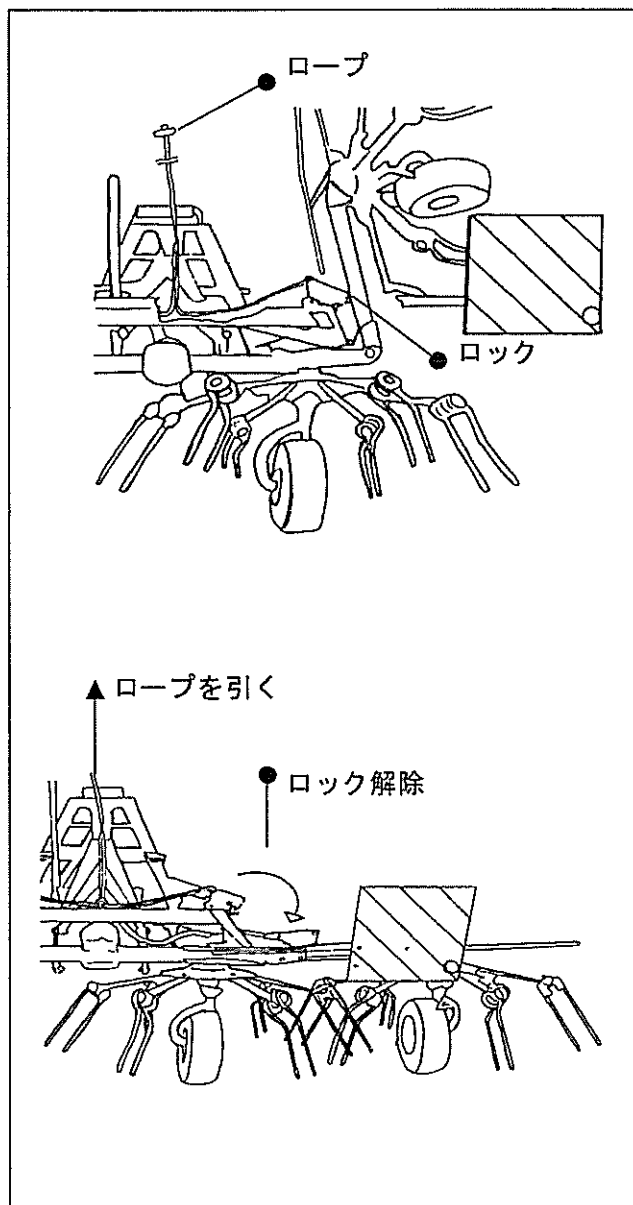
◆切換え方法

- ① トラクタ座席からロープを引いてロックを外し、トラクタ油圧レバーを操作してロータを下げてください。

注意

必要に応じ、ロープ長さを調節してください。

油圧ストップバルブの作動に注意してください。



5 作業姿勢から運搬姿勢への切換え

注意

ロータを上昇させる時には、必ずPTOを切ってください。

◆切換え方法

油圧シリンダへ流れるよう、ロープを引いてストップバルブを開けてください。

ロープをしっかり保持し、トラクタの油圧レバーを動かしてロータを上げてください。いちばん上まで上がりますと、安全のため自動的にロックされます。

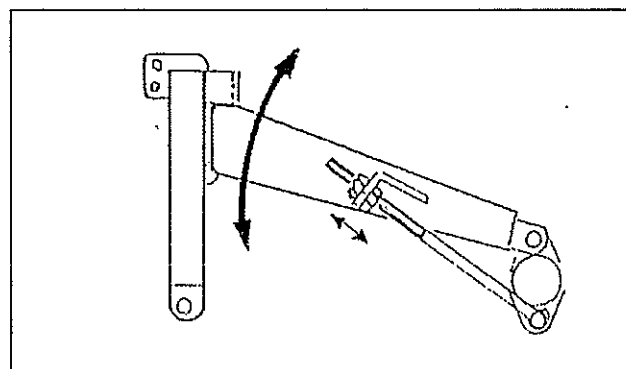
注意

上昇後はロック装置が働いていることを確認してください。

6 マスト高さの調整

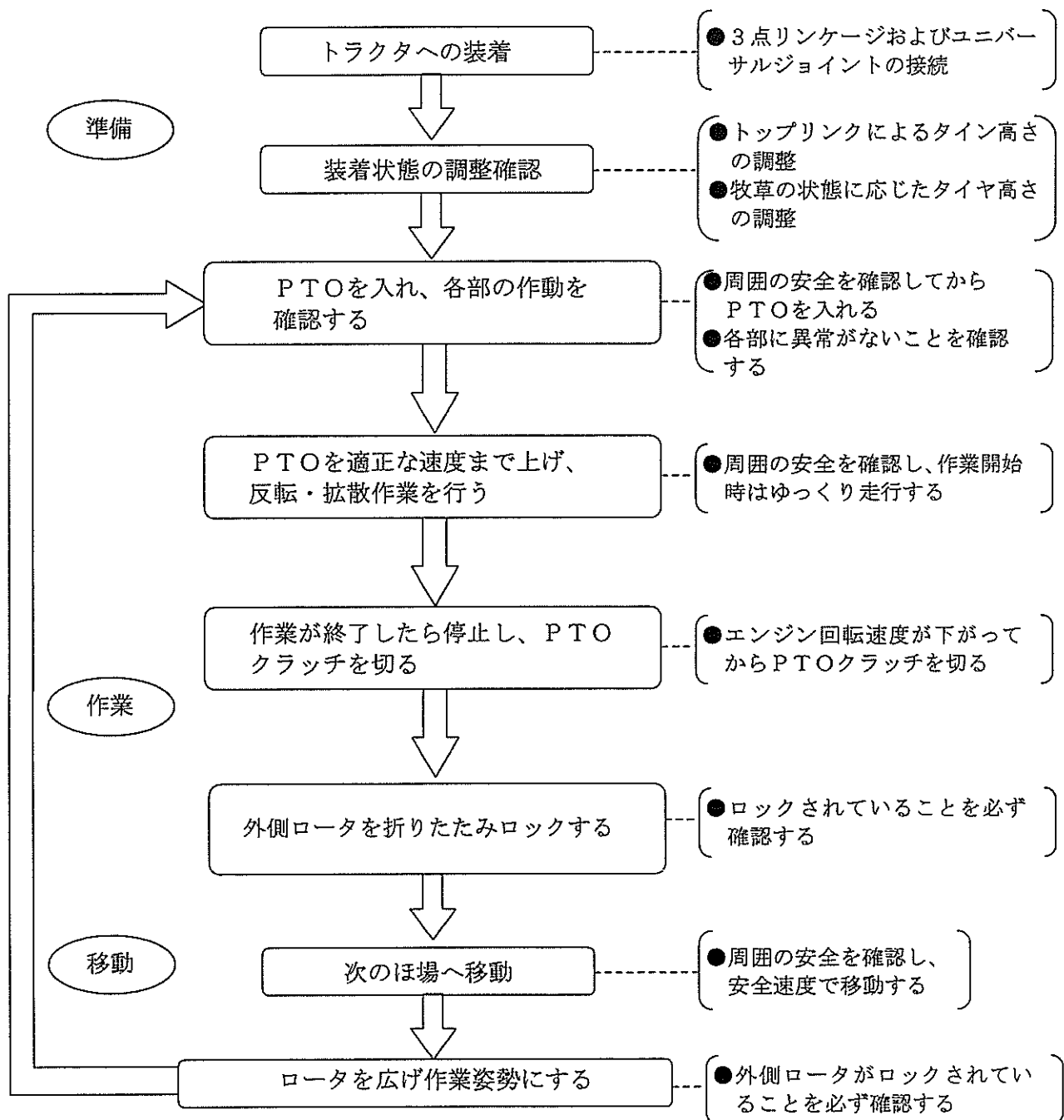
ユニバーサルジョイントがマストに当るなどの不具合がある場合は、ロット長さを調整することにより、マスト高さを変えることができます。

(通常は調整の必要はありません。)



作業方法

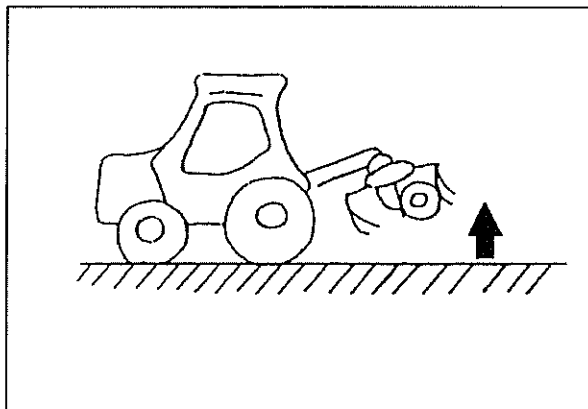
1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するときは

移動するときは、必ず外側のロータを折りたたみ、マストをロックしてから十分な高さまで3点リンケージで吊り上げて走行してください。(移動姿勢への切換え方法は、14ページを参照してください。)



警告

- ①移動するときは、必ず外側のロータを折りたたんで、マストをロックしてください。
- ②本機を装着しての運転は、まわりの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ③カーブを曲がるときは、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。

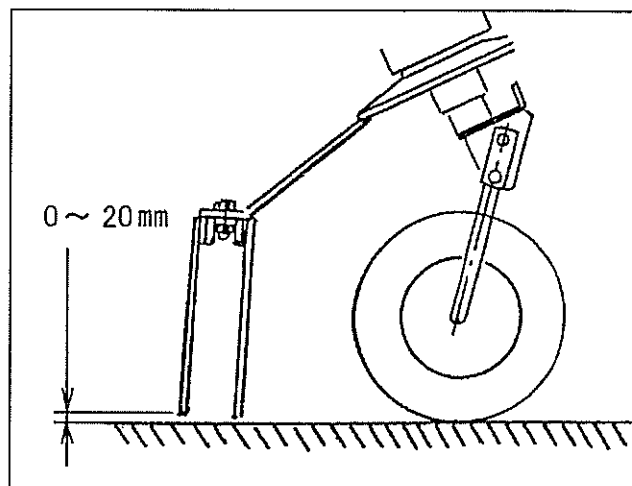
作業姿勢のまま移動されますと、人に重大な傷害を加えたり、物損事故を起こす恐れがあります。

3. 作業前の確認事項

- ◆マストロックは解除してありますか
作業時は、マストロックを解除する必要があります。(12ページを参照してください。)

◆タインの高さで調整

水平な場所でトラクタ油圧レバーをいっぱいまで下げ、トップリンクの長さで調整してください。



注意

- ①タインを下げすぎますと、土や石を拾い上げタインの不必要な摩耗や破損の原因となります。
- ②タイヤの上下方向角度を調整したとき(13ページ参照)はタイン高さも合わせて調整する必要があります。

◆拡散角度の調整

作物の状態に応じ、拡散角度を調整してください。(タイヤの高さ調整により行います。)

(13ページを参照してください。)

◆作業速度とPTO回転速度

作物の収量・乾燥状態あるいは、ほ場条件により適正な作業速度を選んでください。また、PTO回転速度は作物の乾燥が進む程、下げるようにしてください。

注意

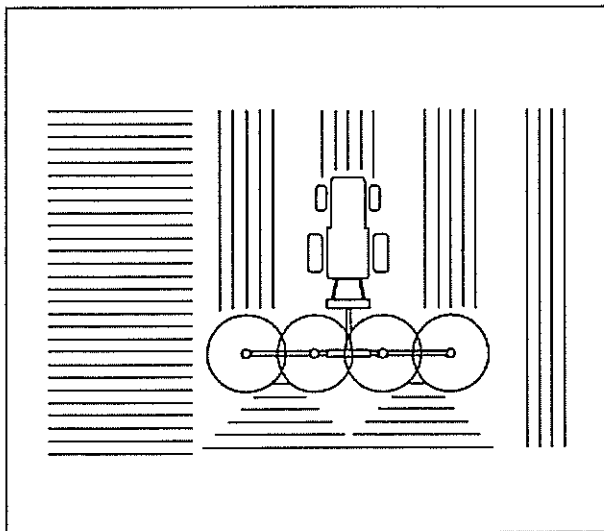
ユニバーサルジョイントのクラッチが滑るとき(草量が多い、草が重いなどによる)は、滑りが止まるまで車速を下げてください。

作業方法

4. 刈取り列の拡散

刈取った草を拡散するときは、トラクタの車輪が草列をまたぐようにして作業してください。

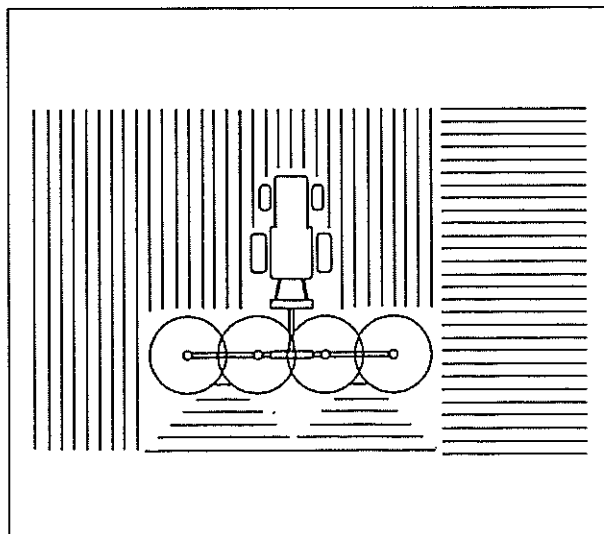
作業速度は草量により調整をしてください。また、P T O回転速度はおよそ 540 min^{-1} (rpm) にしてください。



5. 通常の反転拡散

拡散済みの草を再度反転・拡散するときは、作物の損失を防ぐためP T O回転速度を下げ、同時に作業速度を上げてください。

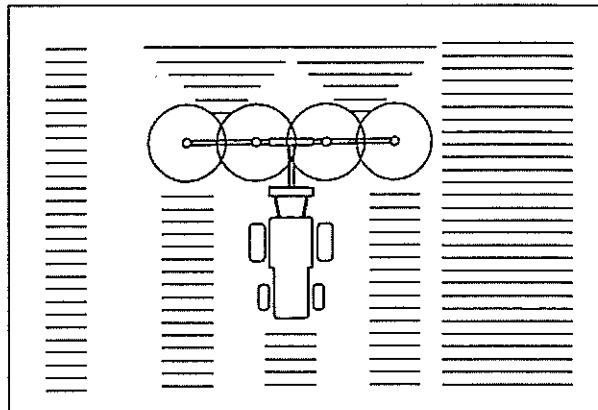
草量乾燥具合にもよりますが、P T O回転速度は $500 \sim 450 \text{ min}^{-1}$ (rpm) にしてください。



6. ウインドロウの拡散

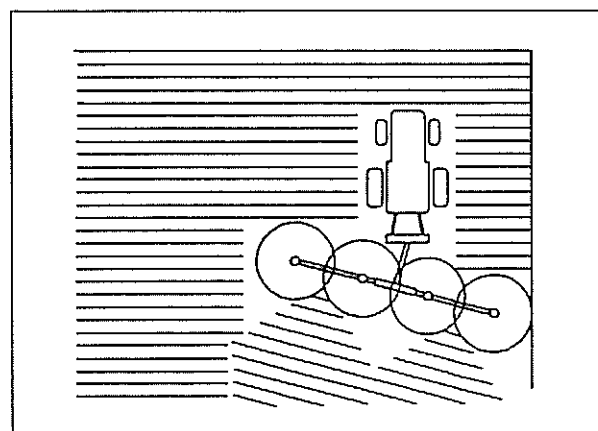
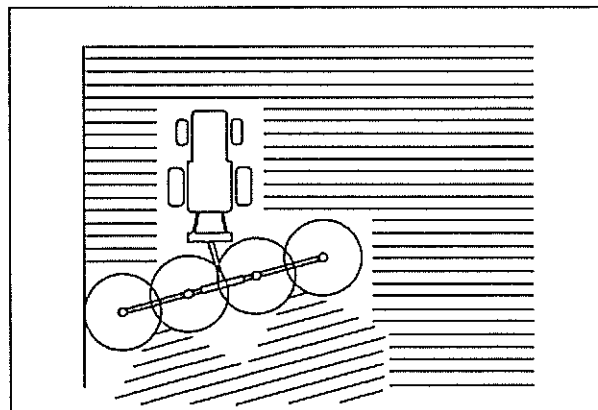
ウインドロウを拡散するときは、トラクタの車輪が草列をまたぐようにしてください。

作物の損失を防ぐため、P T O回転速度は拡散作用が得られる限度までできるだけ下げてください。



7. ほ場端での作業

タイヤ横方向の角度を調整することにより、左右どちらにほ場端でも作業をすることができます。(13ページ参照)





警告

- ① 拡散・反転作業中は、まわりに人や動物を近づけないでください。
石などがタインで飛ばされ、人などに当る恐れがあり、大変危険です。
- ② PTO回転中は、ロータには近づかないでください。
触れると巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。

これらを守らないと、死亡あるいは重大な傷害発生の恐れがあります。

8. 傾斜地での作業

◆必ず、直角走行・急ハンドル禁止

斜面に対して直角方向に走行し、旋回は速度を落として急ハンドルを切らないで旋回してください。



警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので決して行わないでください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。



警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときはP T Oを切り、エンジンを停止させ、回転部が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	ユニバーサルジョイント	・ 取付けが完全か	1 1	
2	各部のボルト・ナット	・ ゆるみ、ガタつきがないか	—	
3	機体の姿勢	・ 正しい姿勢になっているか	1 0、1 6	
4	タイン	・ 欠損がないか	2 1	
5	タイヤ	・ 空気圧は適正か	2 0	
6	各部への注油・グリスアップ	・ 各部へのグリスアップは十分か	2 0	
7	油圧装置	・ 油に著しい汚れがないか ・ 取付状態が適切でボルト及びナットのゆるみ、脱落がないこと ・ ホースとの接続部ならびにシール部からの油漏れがないこと	2 1	

異常が認められない場合は、P T O回転速度を $450 \sim 540 \text{ min}^{-1}$ (rpm) まで徐々に上げ、1～2分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

警告

- ①各部の調整をするときは、PTOを切り、エンジンを停止させて回転部が完全に止まってから行ってください。
- ②取外したカバーやガード類は必ず取付けてください。
- ③持ち上げた状態での保守作業をする場合は、必ず下に適切な支柱を置いてください。

1. 各部へのグリスアップ

◆本機へのグリスアップ

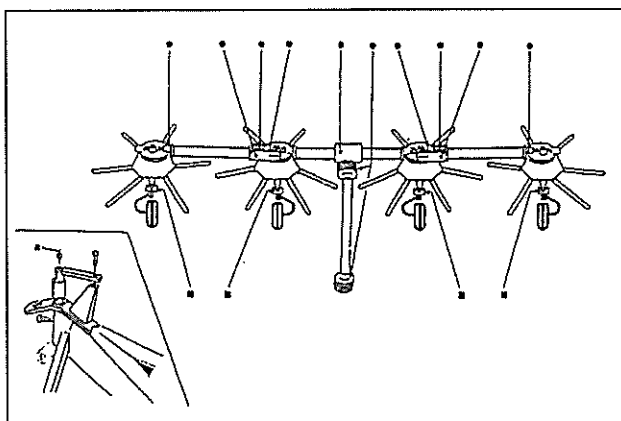
●印部：毎日グリスアップしてください。

- ①メインミッションギヤ（1カ所）
- ②タテ軸部ギヤ（4カ所）
- ③ロータ折たたみ部ジョイント
（ローラ部 4カ所）

■印部：週に一度グリスアップしてください。

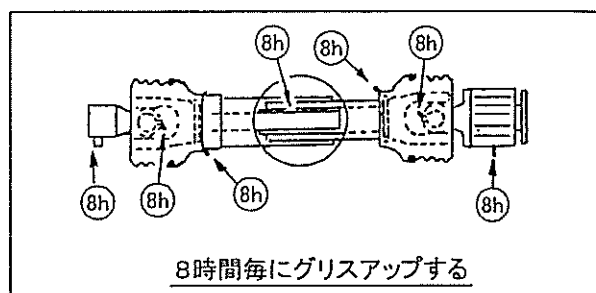
- ①タテ軸支持部（4カ所）
- ②タイヤ軸（4カ所）

その他、タイヤの左右角度調整用レバー部に適宜グリスアップしてください。



◆ユニバーサルジョイントへのグリスアップ

下図に従い、8時間毎にグリスアップしてください。



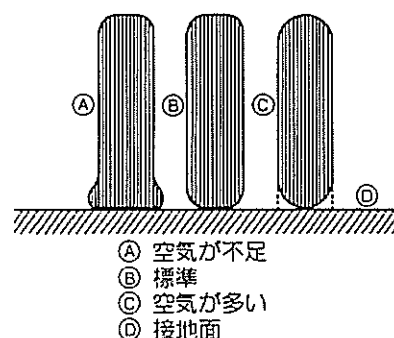
2. タイヤの空気圧

タイヤの標準空気圧は 0.2MPa です。
適宜確認してください。

警告

- タイヤの空気圧は取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
空気の入れ過ぎは、タイヤ破損の恐れがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。
タイヤ破損の恐れがあります。
- タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは、十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店で依頼してください。

外観からタイヤの空気圧を判断する目安は次の通りです。



簡単な手入れと処置

3. タインの交換

タイヤが折れたまま使用されますと、作業不良の原因となります。直ちに交換してください。

- ・ タイン黒

(部品コード 3 1 1 2 2 0 6 7 3 7 4 1)

- ・ タイン白

(部品コード 3 1 1 2 2 0 6 7 3 7 4 2)

4. 油圧装置の修理を行う場合

作業前にコントロールレバーを動かして内部の圧力を抜き、機械を地面に降ろし、トラクタのエンジンを止めてから行ってください。

5. 長期格納時の手入れ

作業が終了したら、次期の使用時に備えかつ、末長くご利用いただくためにも十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した泥やほこりなどを落とし、巻き付いた草などを取除いてください。
- 乾燥後は、各回転部、摺動部には十分注油し、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り、錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいる時は締めて下さい。
- 各部の点検を行い、不調部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な所で保管してください。

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ページ
●ユニバーサルジョイントのクラッチが頻繁に作動する	●草量が多い、あるいは草が重い	●車速を下げる	16
●ロータが地面の凹凸に追従しない	●マストがロックされている	●作業中はマストのロックを解除する	12
●草の飛びが悪い	●草量が多い	●車速を下げる	—
	●P T O回転速度が低い	●回転を上げる ※ただし、乾燥が進んでいるときは損失が増えるため400～500min ⁻¹ (rpm)までとする	17
	●拡散角度が小さい	●タイヤの上下方向角度を変え拡散角度を大きくする	13
●トラクタローリンクを下げたとき、マストとユニバーサルジョイントが当たる	●マストが低い	●高さ調整用のロット長さを長くして、マストの高さを上げる	14

付 表

1. 主要諸元

品 名	ロータリテッダ	
型 式	Z 5 5 5 D H	
装 着 方 法	3点リンク直装式 (カテゴリ I・II)	
駆 動 方 法	トラクタ P T O 駆動 回転数: 540min^{-1} (rpm)	
機 体	全 長 (mm)	2 3 5 0
	全幅 (mm)	移動時 2 9 2 0
		作業時 5 5 0 0
	全高 (mm)	作業時 1 3 9 0
質 量 (kg)	4 4 0	
作 業 幅 (cm)	5 5 0	
ロ ー タ 数	4	
タ イ ン 数	2 4 (6本/ロータ)	
ロ ー タ 径 (mm)	1 7 0 0	
作業速度 (km/h)	1 5 (最大)	
作業能率 (分/10a)	1. 0	
タ イ ヤ サ イ ズ	1 6 / 6. 5 0 - 8	
適応トラクタ (kW(PS))	2 2 (3 0) 以上	
外側ロータ折り畳み	油 圧	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

部 品 名 称	部 品 コ ー ド	備 考
タイン黒	3 1 1 2 2 0 6 7 3 7 4 1	
タイン白	3 1 1 2 2 0 6 7 3 7 4 2	